

【補足資料】

1 教科に関する調査についての各種グラフ

(1) 教科正答率及び設問ごと正答率一覧

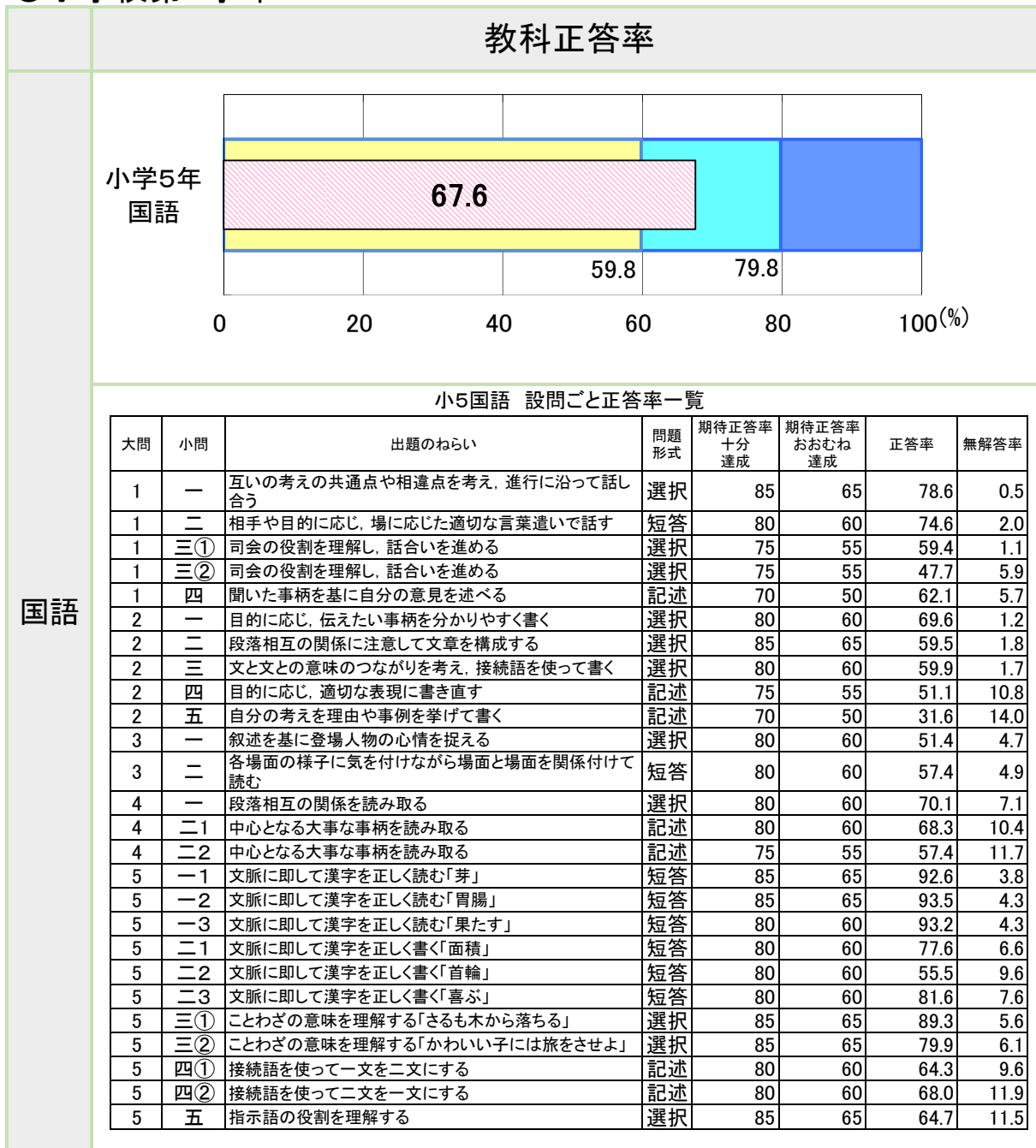
教科別達成状況

教科の正答率の到達基準との比較

各学年ごとに教科の正答率について到達基準との比較を示す。

(凡例) : 要努力(おおむね達成の基準を下回る) : おおむね達成 : 十分達成

○小学校第5学年



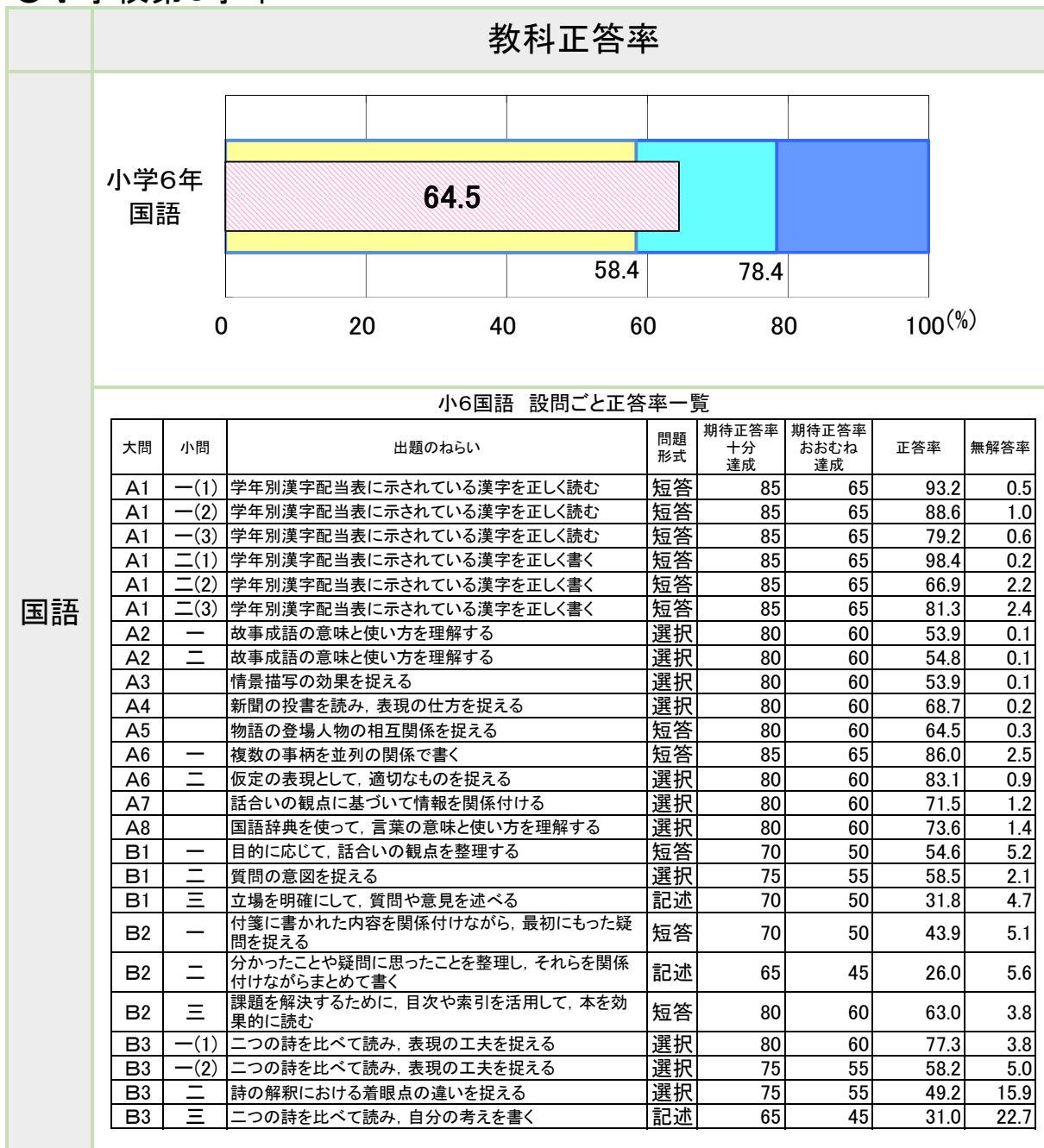
○小学校第5学年



小5算数 設問ごと正答率一覧

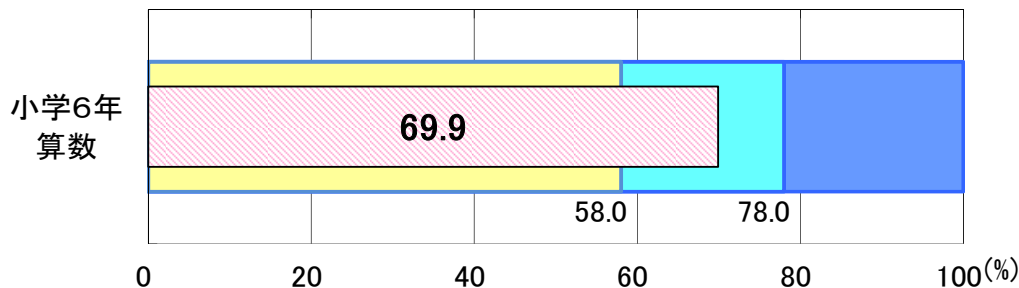
算数

○小学校第6学年



○小学校第6学年

教科正答率

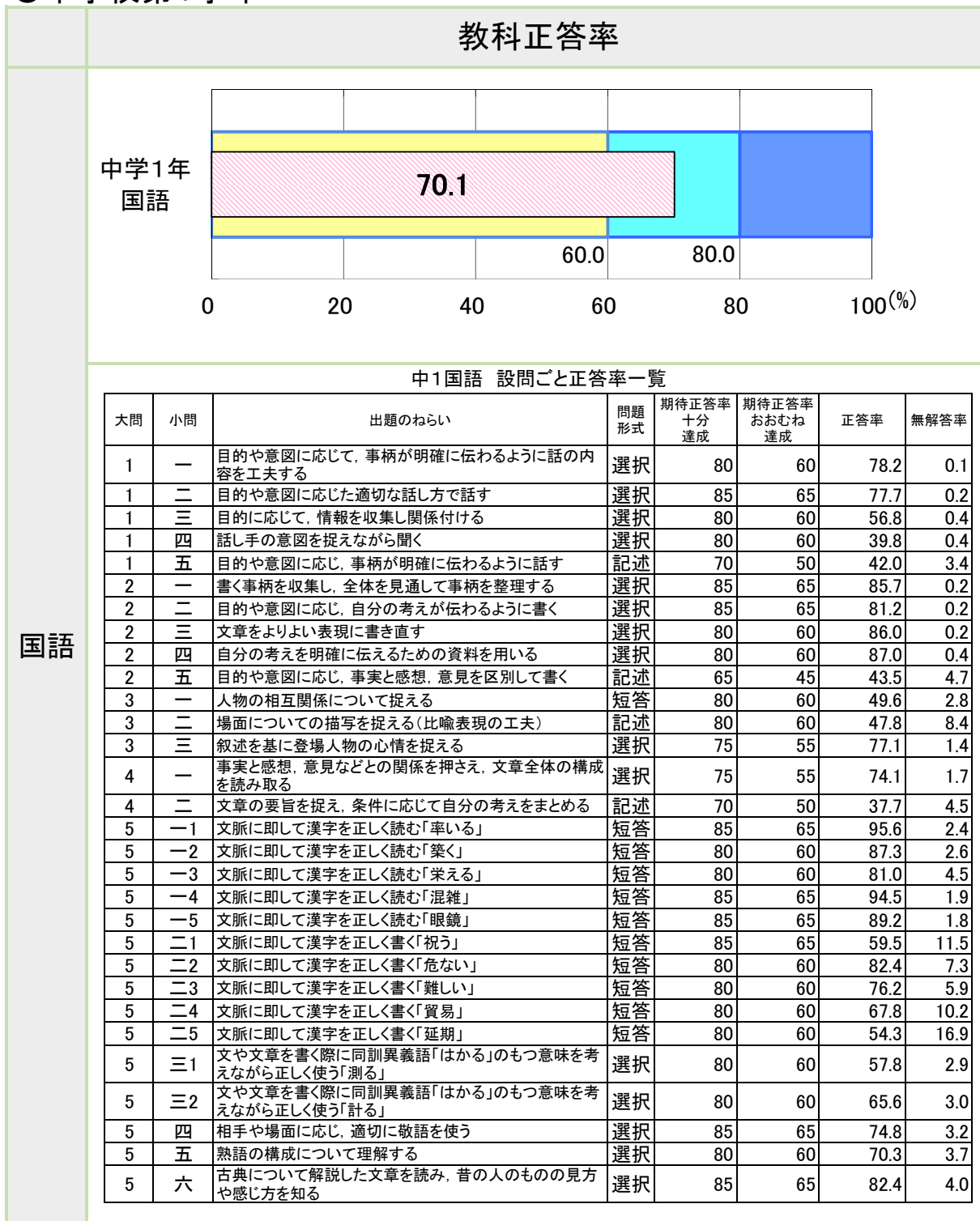


小6算数 設問ごと正答率一覧

算数

大問	小問	出題のねらい	問題形式	期待正答率 十分達成	期待正答率 おおむね達成	正答率	無解答率
A1	(1)	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	短答	85	65	97.0	0.0
A1	(2)	被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる	短答	85	65	92.6	0.1
A1	(3)	小数第1位までの減法の計算をすることができる	短答	85	65	82.2	0.2
A1	(4)	商が小数になる除法の計算をすることができる	短答	85	65	92.8	0.2
A1	(5)	減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	短答	85	65	80.5	0.2
A1	(6)	異分母の分数の加法の計算をすることができる	短答	85	65	92.6	0.4
A2	(1)	割合が1より大きい場合、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	選択	85	65	70.9	0.2
A2	(2)	割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解している	選択	80	60	51.5	0.2
A3		分数の相等及び大小について理解している	選択	85	65	69.7	0.3
A4	(1)	二つの数量の関係について、単位量当たりの大きさを調べる場合と図とを関連付けることができる	選択	80	60	81.2	0.3
A4	(2)	単位量当たりの大きさの求め方を理解している	短答	80	60	61.2	1.5
A5	(1)	円周の長さを、直径の長さを用いて求めることができる	短答	80	60	84.2	0.6
A5	(2)	体積の単位(1cm ³)と測定について理解している	短答	80	60	83.4	0.8
A6		作図に用いられている図形の約束や性質を理解している	選択	80	60	52.3	0.5
A7		立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している	選択	85	65	66.5	0.5
A8		四則の混合した式の意味について理解している	選択	80	60	79.8	0.7
A9		二つの数量の関係を口、△などの記号を用いて式に表すことができる	選択	80	60	80.6	0.8
B1	(1)	示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数)×(1位数)の筆算をすることができる	選択	75	55	94.0	0.1
B1	(2)	示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる	記述	70	50	64.9	3.1
B2	(1)	示された場面から基準量と比較量を捉え、倍を求めることができる	短答	75	55	84.3	1.8
B2	(2)	最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述できる	記述	70	50	68.9	2.4
B2	(3)	全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる	選択	70	50	60.9	0.7
B3	(1)	示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる	短答	70	50	35.4	2.1
B3	(2)	10人分の量を基に40人分の量を相対的に捉え、その関係を表している図を選択することができる	選択	75	55	52.5	1.2
B3	(3)	示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる	記述	70	50	47.4	2.2
B4	(1)	繰り返されるリズムの規則性(周期)を見だし、それを基に小節数を求めることができる	短答	75	55	60.2	1.3
B4	(2)	二人のリズムが重なる部分を、公倍数に着目して記述できる	記述	70	50	68.5	8.5
B5	(1)	示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることができる	短答	70	50	64.2	3.7
B5	(2)	示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することができる	選択	75	55	42.5	3.5
B5	(3)	示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述できる	記述	70	50	32.9	11.0

○中学校第1学年



○中学校第1学年



○中学校第2学年



○中学校第2学年



中2数学 設問ごと正答率一覧

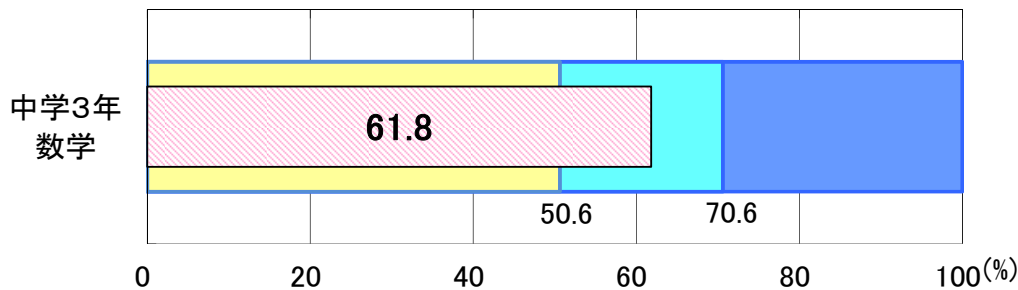
数学

○中学校第3学年



○中学校第3学年

教科正答率



中3数学 設問ごと正答率一覧

大問	小問	出題のねらい	問題形式	期待正答率 十分達成	期待正答率 おおもむね達成	正答率	無解答率
A1	(1)	分数の除法の計算ができる	短答	75	55	83.8	3.4
A1	(2)	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	短答	70	50	68.5	1.5
A1	(3)	絶対値の意味を理解している	短答	75	55	78.6	7.2
A1	(4)	正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解している	短答	75	55	90.7	2.4
A2	(1)	数量の大小関係を不等式に表すことができる	短答	75	55	35.6	11.4
A2	(2)	単項式どうしの除法の計算ができる	短答	75	55	90.1	2.2
A2	(3)	指数を含む文字式に数を代入して式の値を求めることができる	短答	75	55	77.3	7.3
A2	(4)	数量を文字式で表すことができる	選択	70	50	89.5	0.4
A3	(1)	等式の性質と移項の関係を理解している	選択	75	55	88.1	0.7
A3	(2)	分数を含む一元一次方程式を解くことができる	短答	70	50	54.4	14.5
A3	(3)	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることができる	短答	70	50	76.3	2.1
A3	(4)	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	短答	70	50	62.8	11.1
A4	(1)	対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することができる	短答	75	55	91.7	2.9
A4	(2)	線分の垂直二等分線の作図の方法について理解している	選択	70	50	52.4	0.8
A4	(3)	図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる	選択	75	55	37.3	0.6
A5	(1)	空間における直線と平面の平行について理解している	短答	75	55	75.8	4.8
A5	(2)	平面図形をその面と垂直な方向に平行に移動させたときの、空間図形の構成について理解している	選択	75	55	82.4	0.5
A5	(3)	円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ることができる	短答	75	55	63.3	8.2
A5	(4)	底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している	選択	75	55	34.0	0.8
A6	(1)	記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる	選択	75	55	57.5	0.6
A6	(2)	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	選択	70	50	71.0	1.0
A6	(3)	n角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解している	選択	70	50	44.4	1.1
A7		証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	選択	75	55	67.5	1.1
A8		証明のための構想や方針の必要性と意味を理解している	短答	75	55	65.8	8.7
A9		関数の意味を理解している	短答	75	55	36.9	19.4
A10	(1)	比例の関係を式に表すことができる	短答	75	55	52.2	14.2
A10	(2)	反比例の意味を理解している	選択	75	55	72.6	1.4
A10	(3)	与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することができる	選択	70	50	55.2	1.9
A10	(4)	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	選択	70	50	43.1	2.1
A11	(1)	一次関数の変化の割合の意味を理解している	選択	75	55	43.6	2.1
A11	(2)	一次関数 $y = ax + b$ について、aとbの値とグラフの特徴を関連付けて理解している	選択	75	55	73.7	1.8
A12		連立二元一次方程式の解が、2直線の交点の座標として求められることを理解している	選択	75	55	62.5	2.9
A13	(1)	度数分布表から相対度数を求めることができる	短答	70	50	34.9	18.4
A13	(2)	ヒストグラムにおいて、中央値の意味を理解している	選択	70	50	47.8	2.3
A14	(1)	確率の意味を理解している	選択	75	55	72.1	2.6
A14	(2)	樹形図などを利用して、確率を求めることができる	短答	75	55	61.6	12.1

数学

B1	(1)	与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる	選択	70	50	73.6	0.3
B1	(2)	日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることができる	選択	70	50	90.9	0.3
B1	(3)	事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる	記述	60	40	45.3	18.0
B2	(1)	与えられた説明の道筋を読み取り、式を適切に変形することで、その説明を完成することができる	短答	65	45	59.1	11.4
B2	(2)	事柄が成り立ち立たない理由を説明する場面で、反例をあげることで、その説明を完成することができる	短答	65	45	59.3	10.7
B2	(3)	予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができる	記述	60	40	49.3	11.0
B3	(1)	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	短答	70	50	85.0	6.8
B3	(2)	事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる	記述	65	45	56.5	32.2
B4	(1)	図形の性質を、構想を立てて証明することができる	記述	60	40	44.6	28.3
B4	(2)	付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることができる	短答	60	40	17.4	27.5
B5	(1)	ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができる	短答	70	50	78.1	5.6
B5	(2)	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる	記述	60	40	33.9	11.1
B6	(1)	与えられたグラフを、事象に即して解釈することができる	短答	65	45	56.4	10.9
B6	(2)	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善することができる	選択	60	40	76.0	3.2
B6	(3)	グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる	記述	60	40	30.6	24.3

(2) 評価の観点別正答率

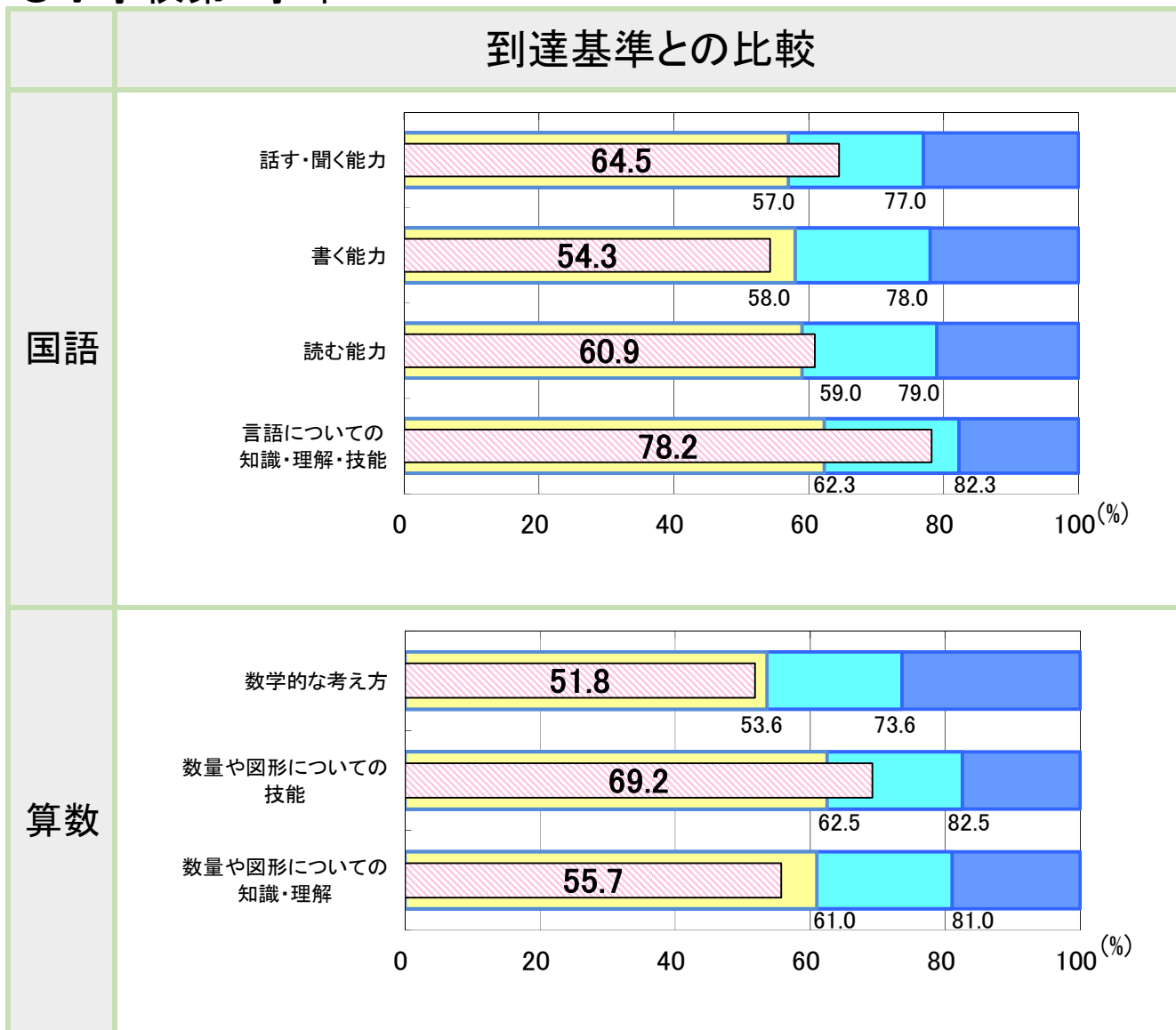
評価の観点別達成状況

評価の観点別に見た到達基準との比較

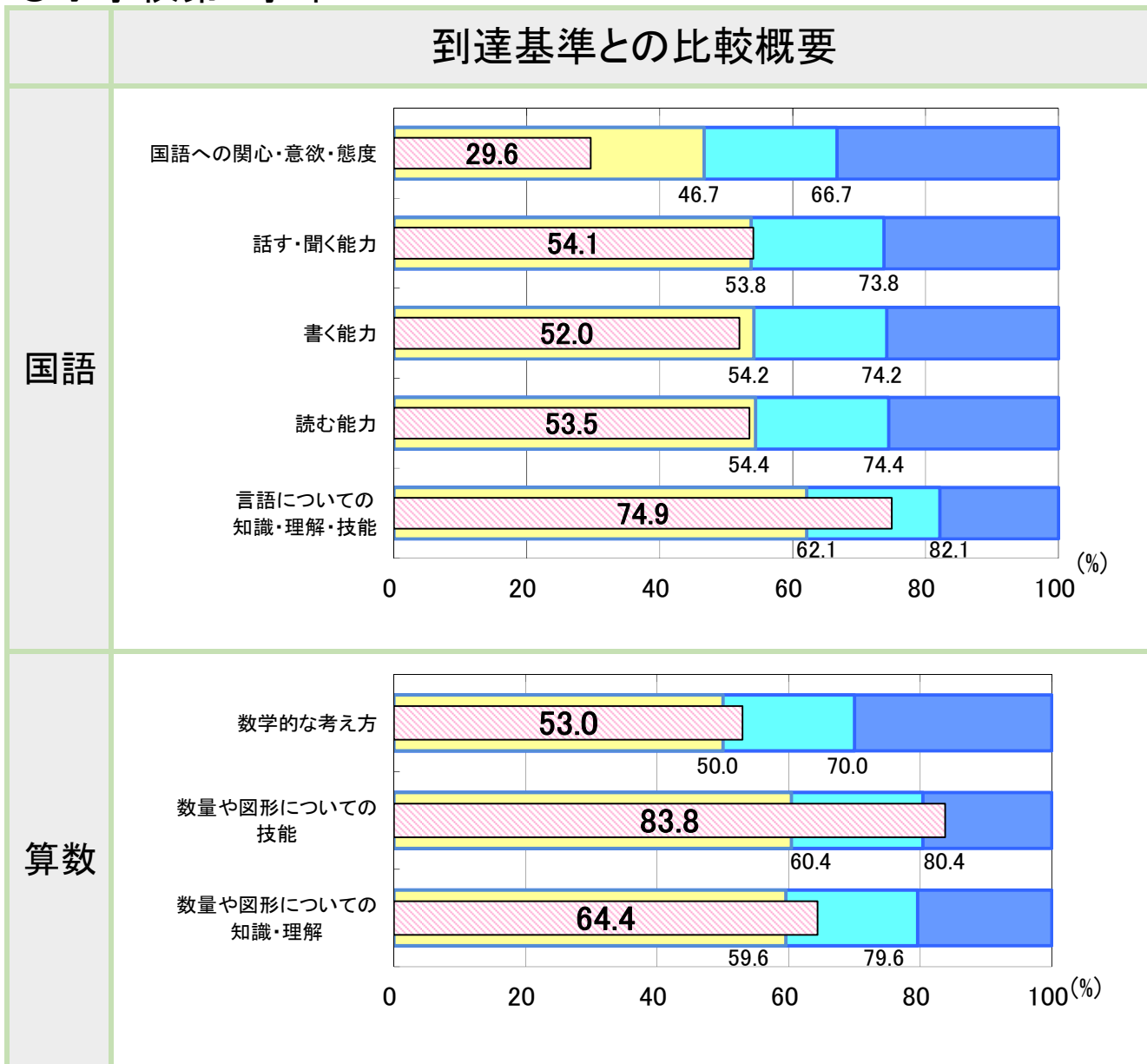
各学年ごとに評価の観点別の平均正答率について到達基準との比較を示す。

(凡例) :要努力(おおむね達成の基準を下回る) :おおむね達成 :十分達成

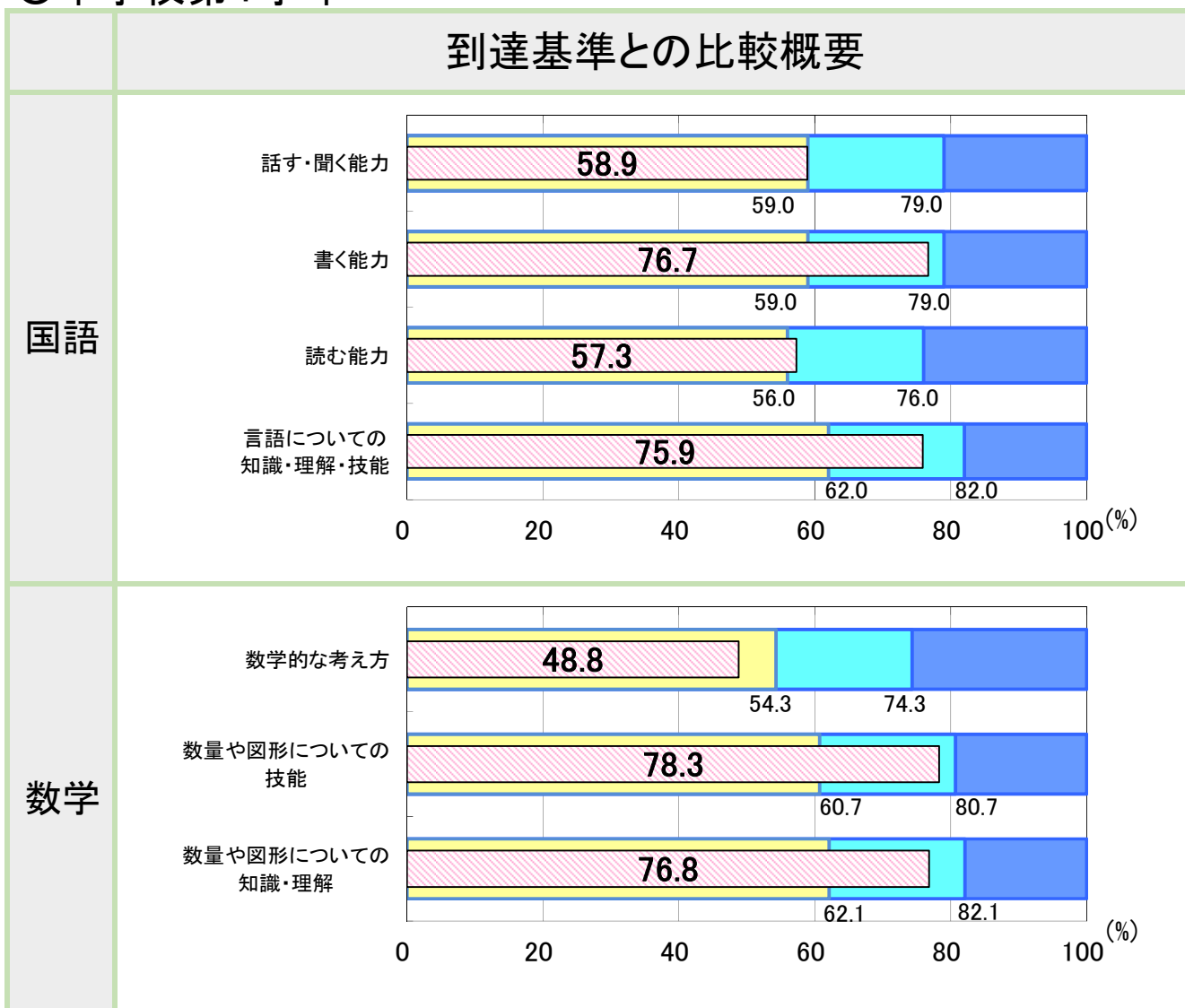
○小学校第5学年



○小学校第6学年

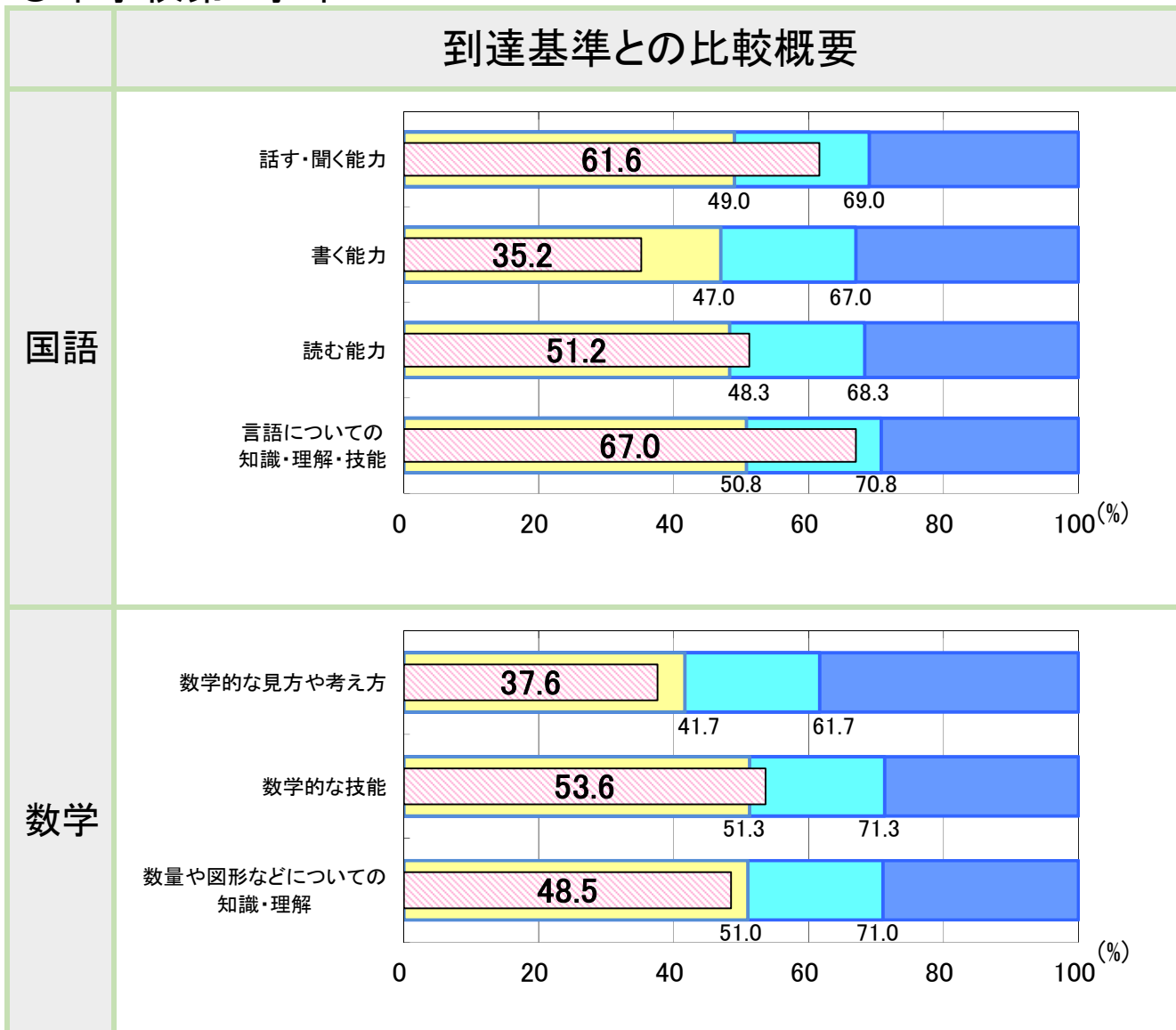


○中学校第1学年

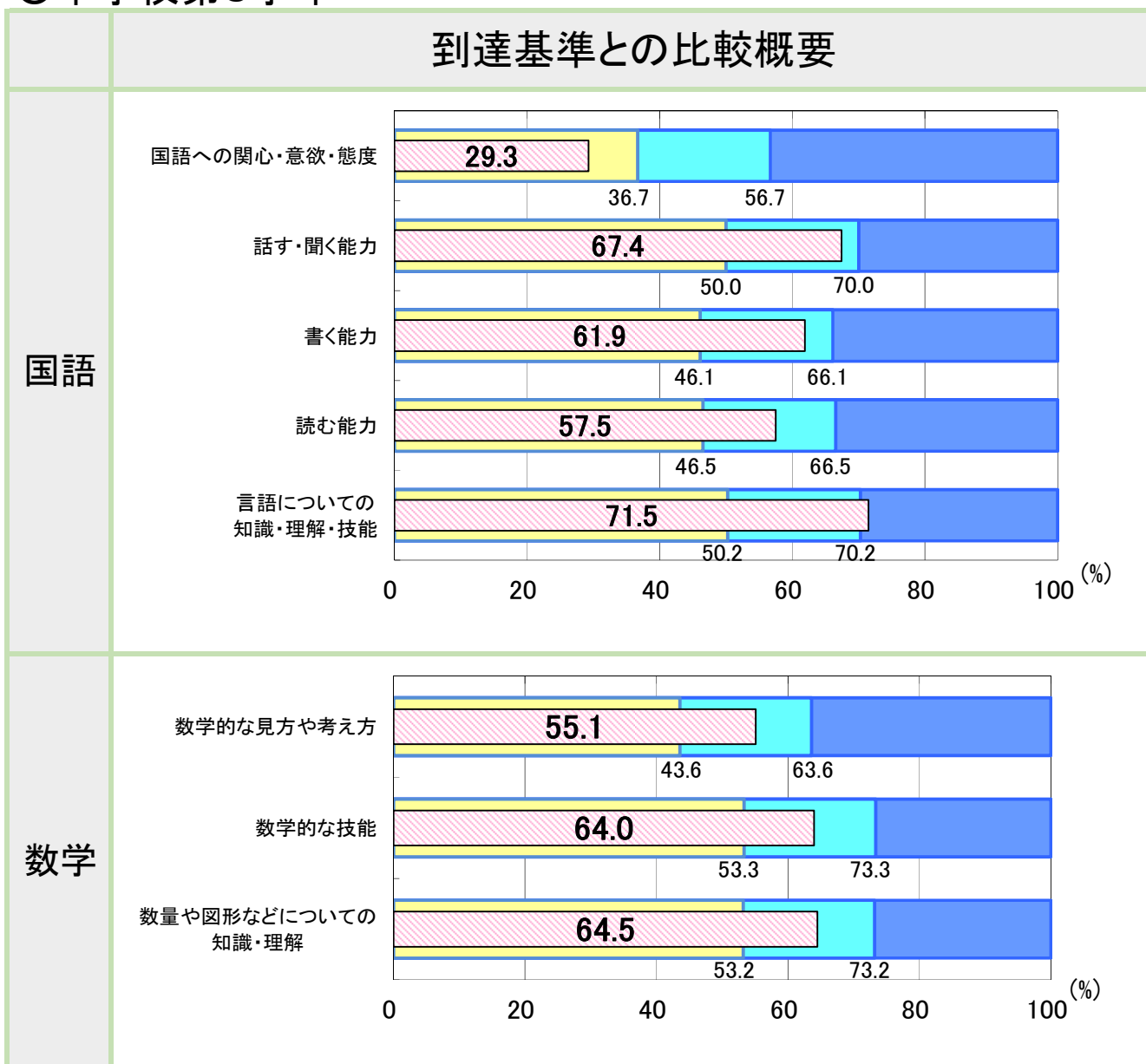


※ 中学校1年生の調査については、小学校6年生の学習内容としているため、小学校の評価の観点としている。

○中学校第2学年



○中学校第3学年



(3) 内容・領域別正答率

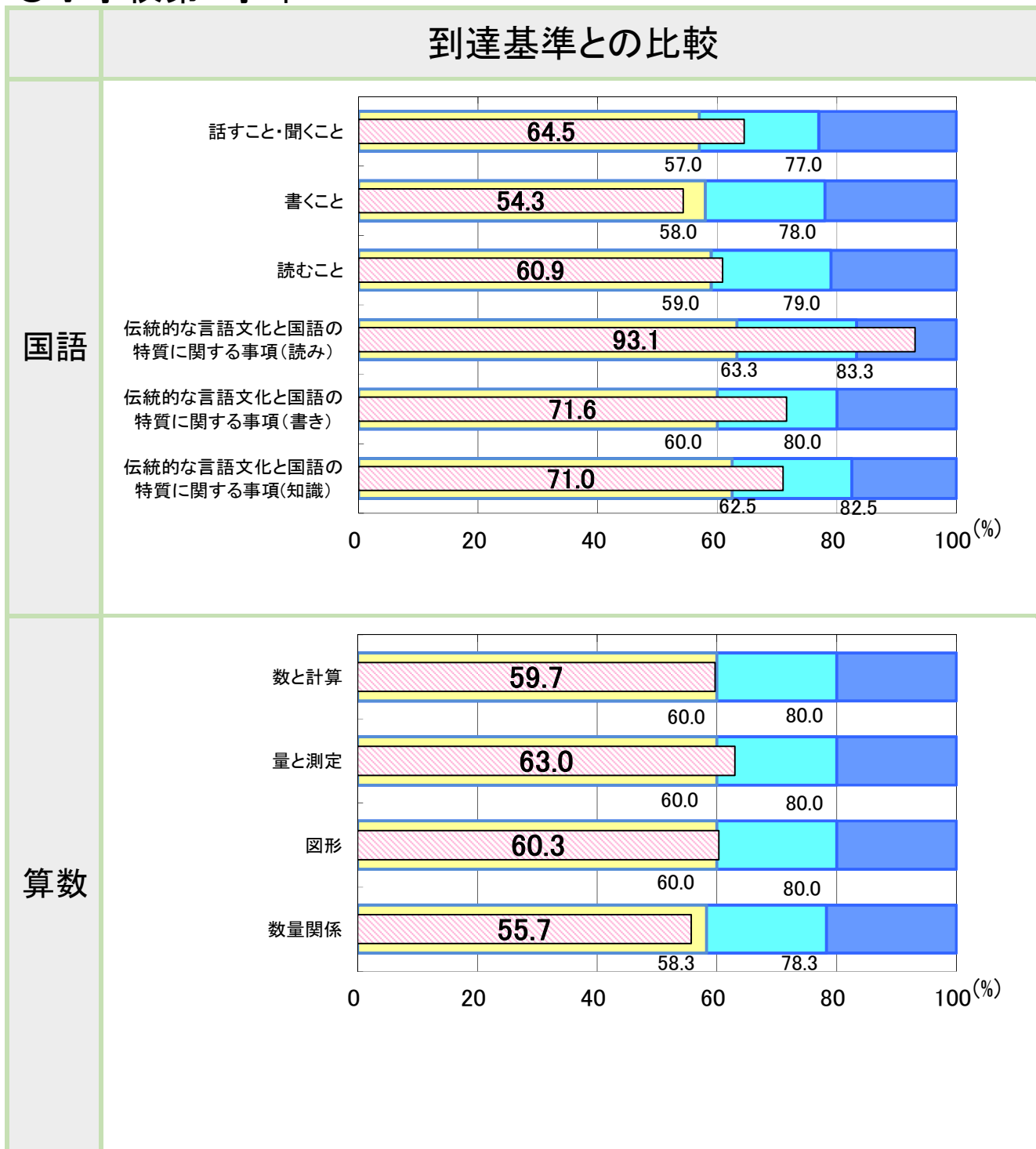
内容・領域別達成状況

内容・領域別に見た到達基準との比較

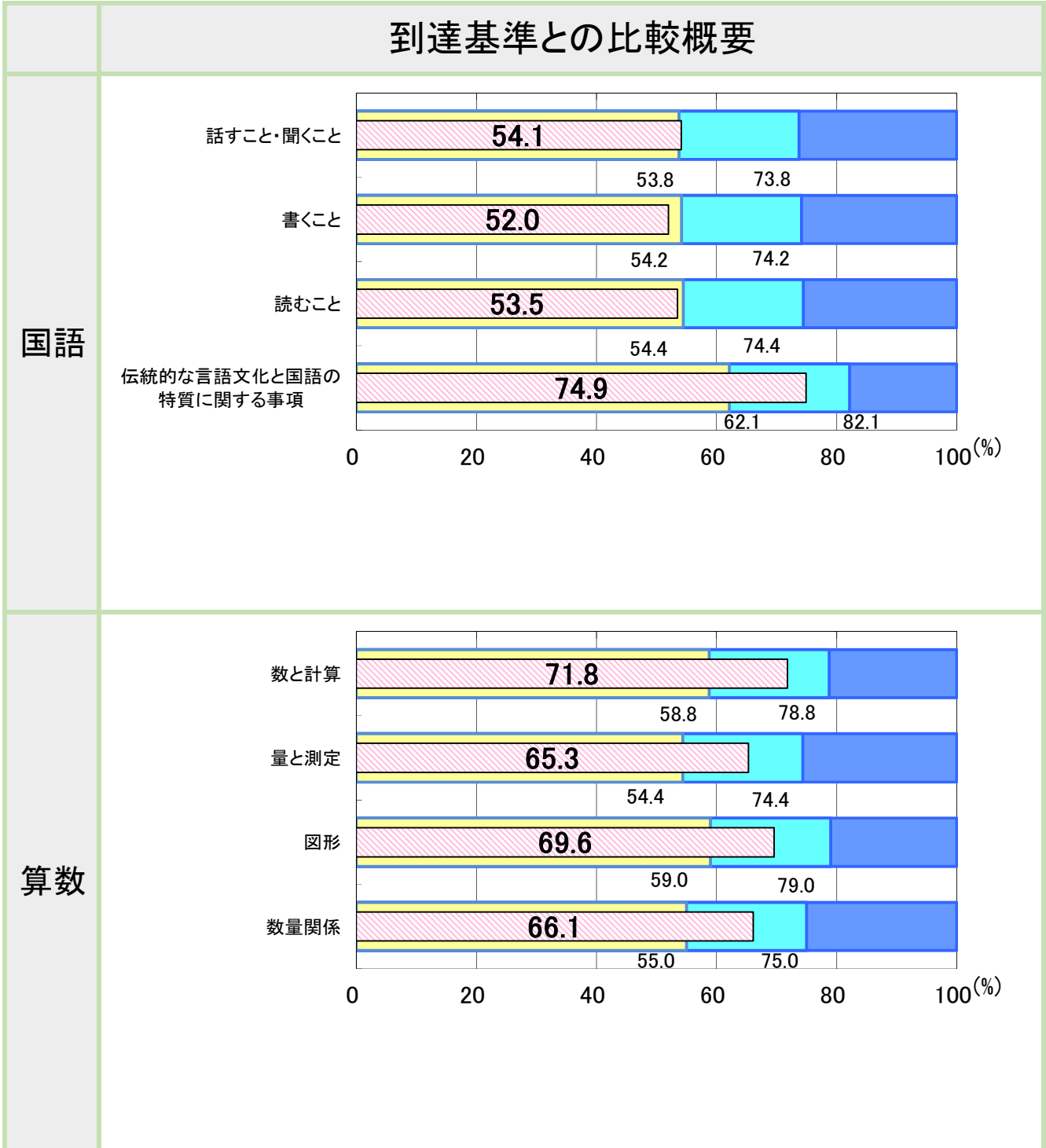
各学年ごとに内容・領域別の平均正答率について到達基準との比較を示す。

(凡例) :要努力(おおむね達成の基準を下回る) :おおむね達成 :十分達成

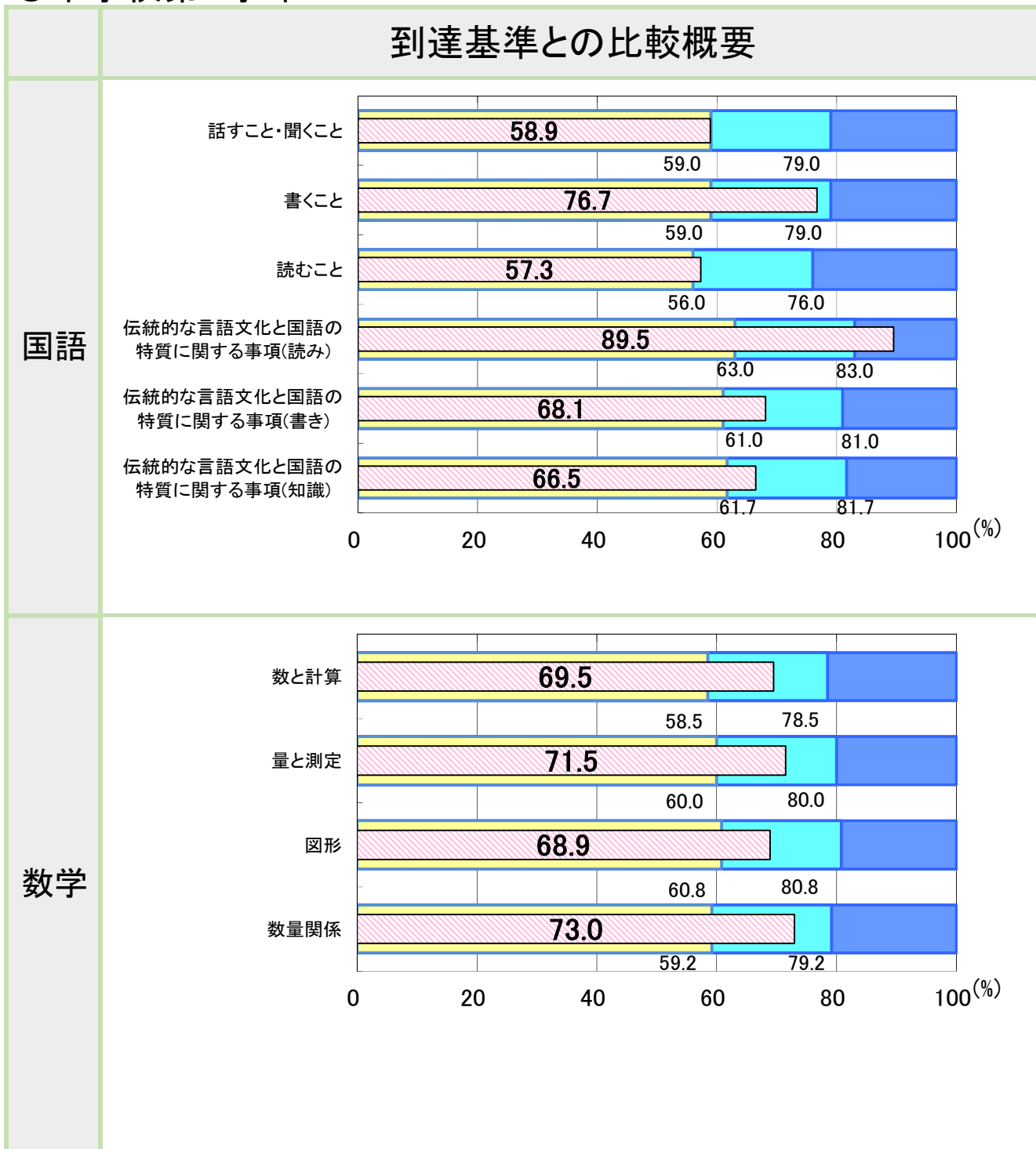
○小学校第5学年



○小学校第6学年

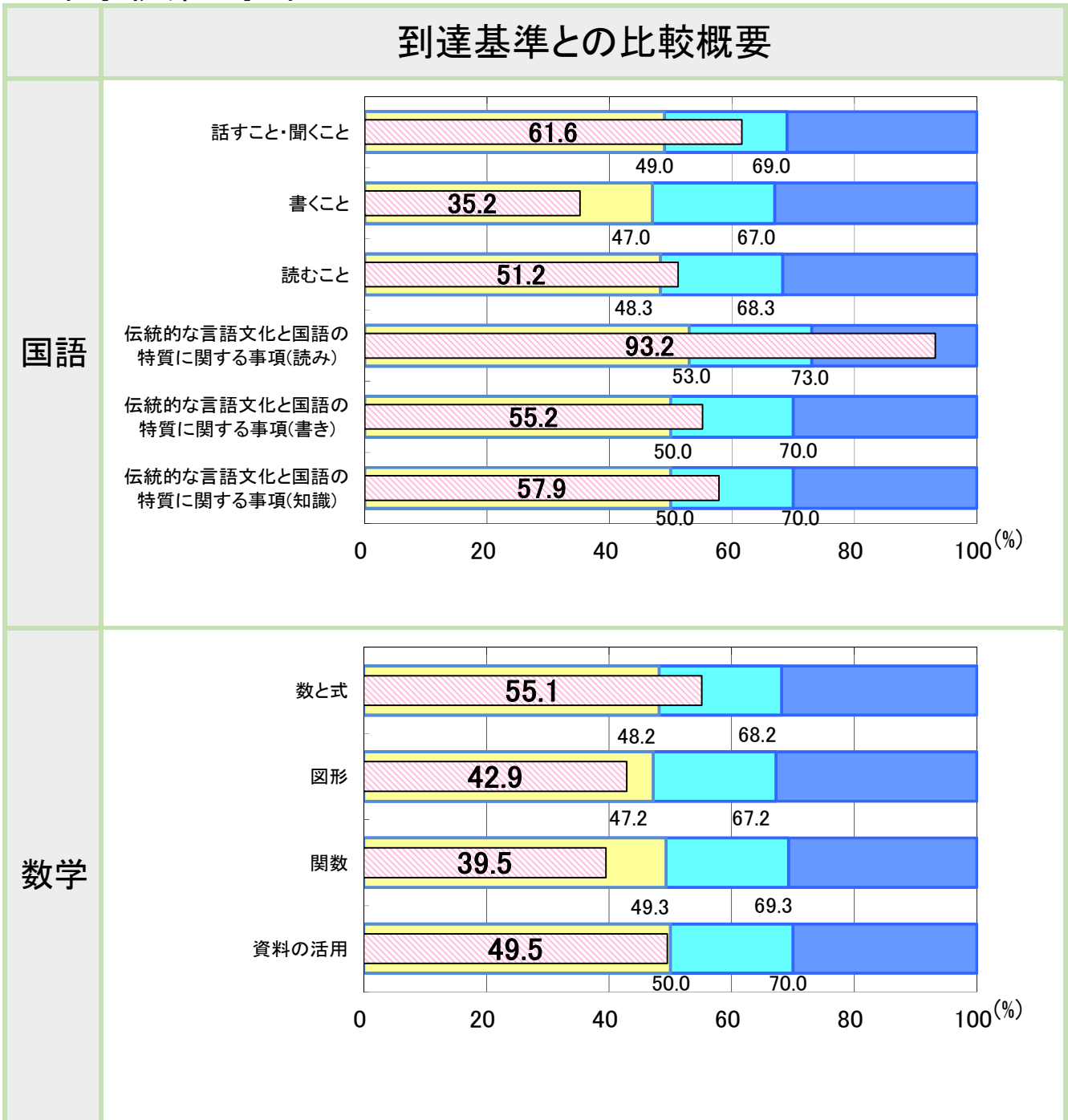


○中学校第1学年

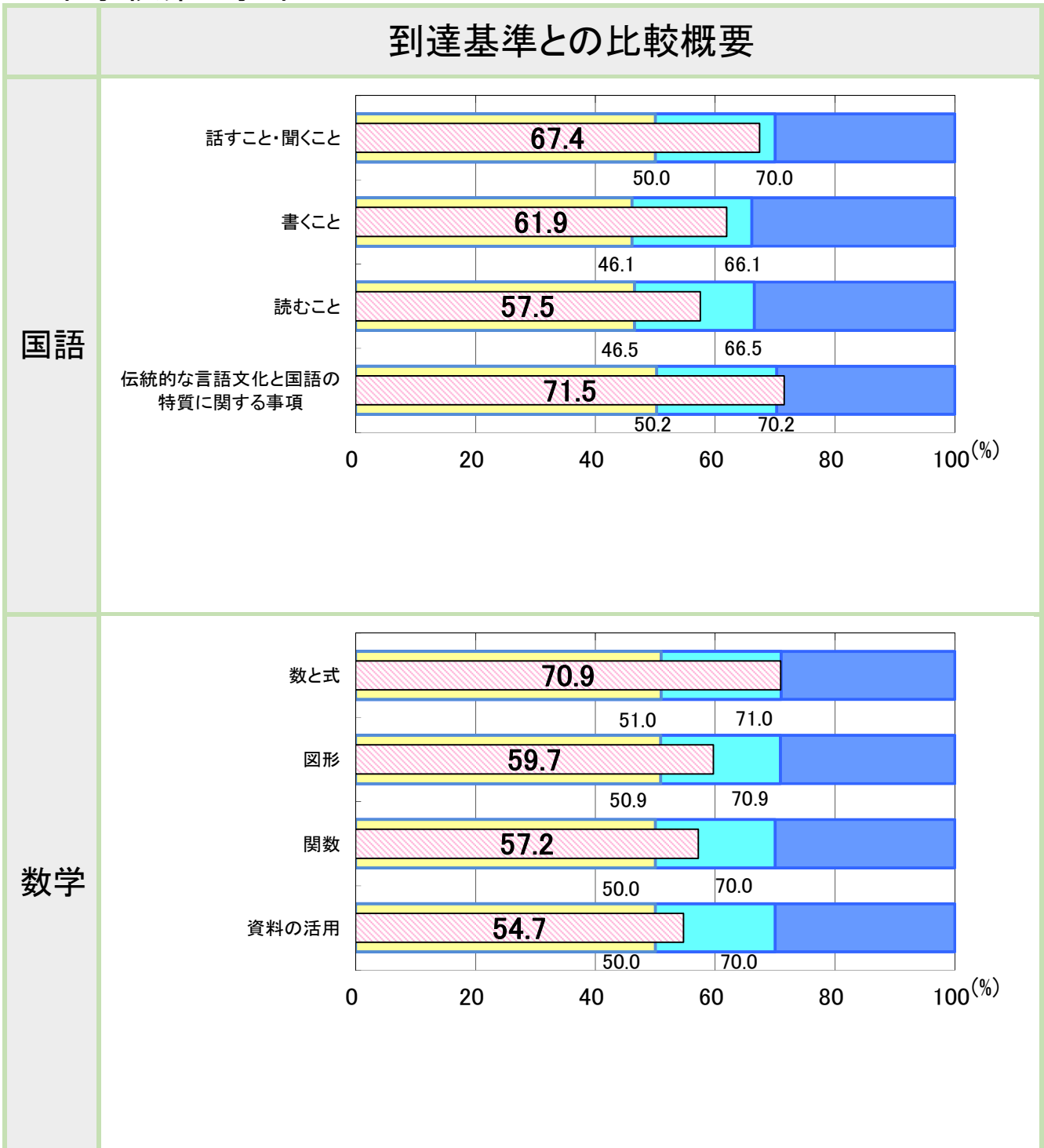


※ 中学校1年生の調査については、小学校6年生の学習内容としているため、小学校の内容領域別としている。

○中学校第2学年



○中学校第3学年

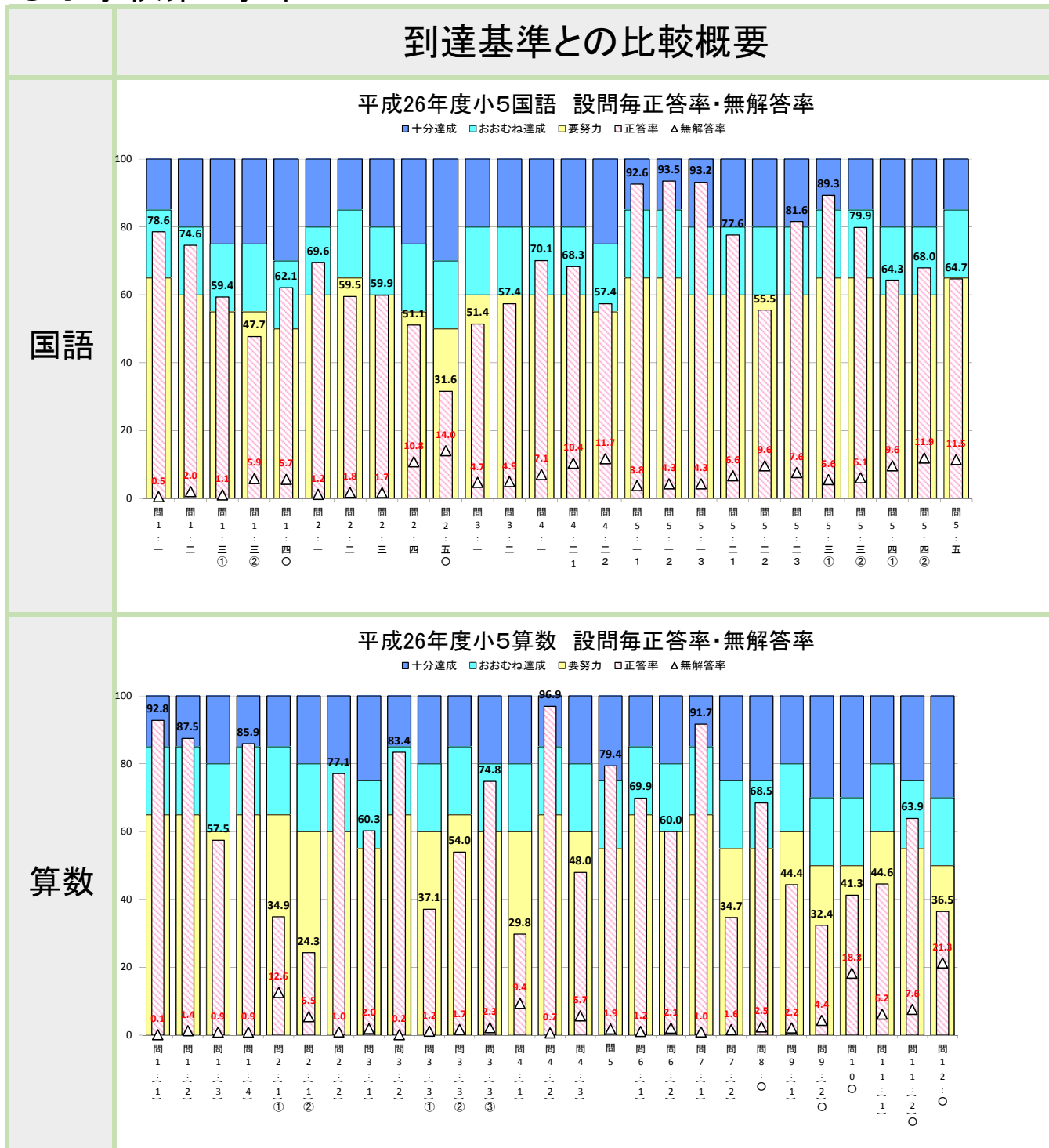


(4) 設問ごと正答率

設問ごと達成状況

設問ごとに見た期待正答率との比較

○小学校第5学年



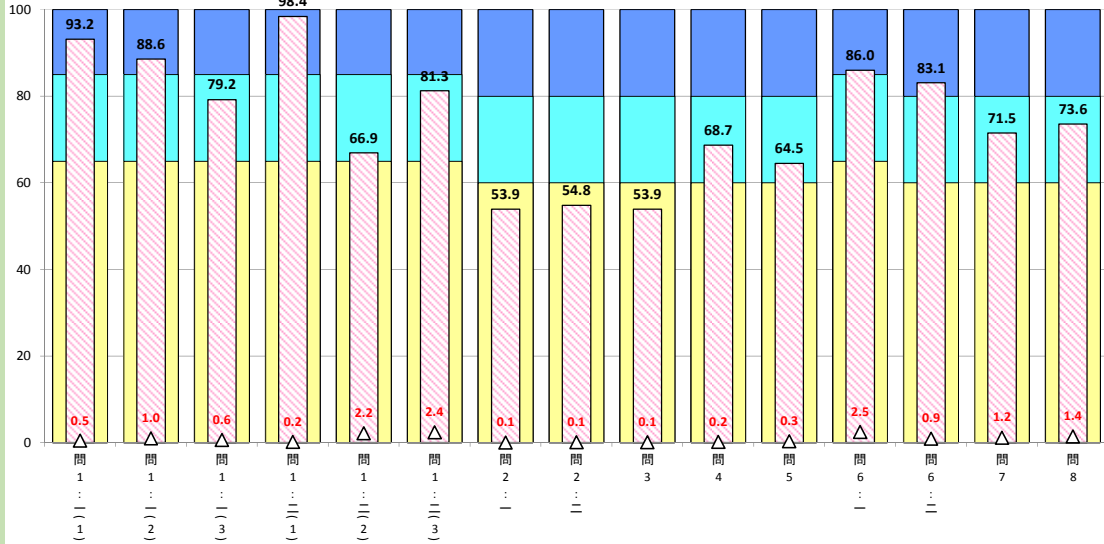
○小学校第6学年

到達基準との比較概要

平成26年度小6国語A 設問毎正答率・無解答率

■十分達成 □おおむね達成 □要努力 □正答率 △無解答率

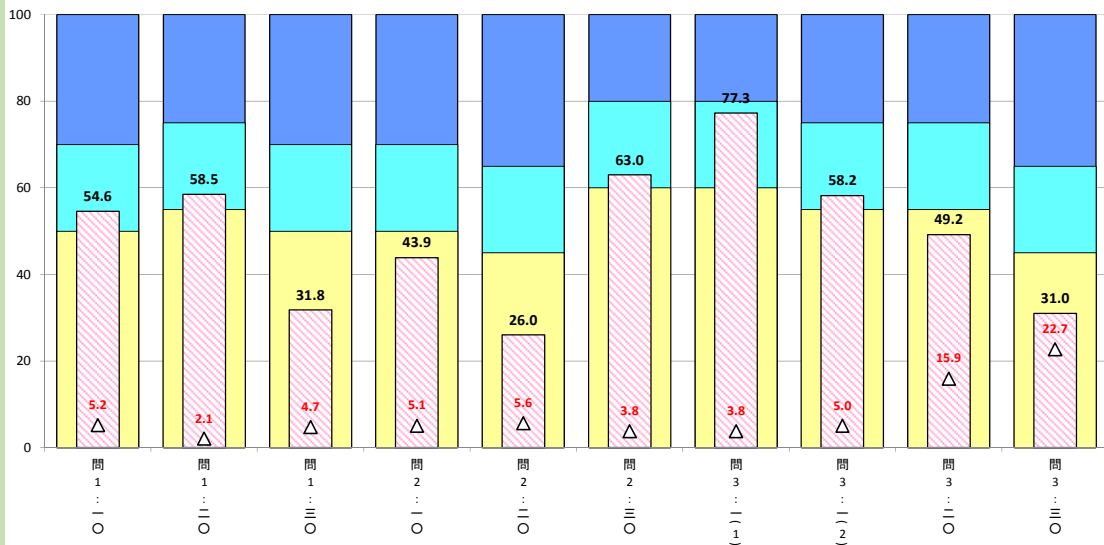
国語A

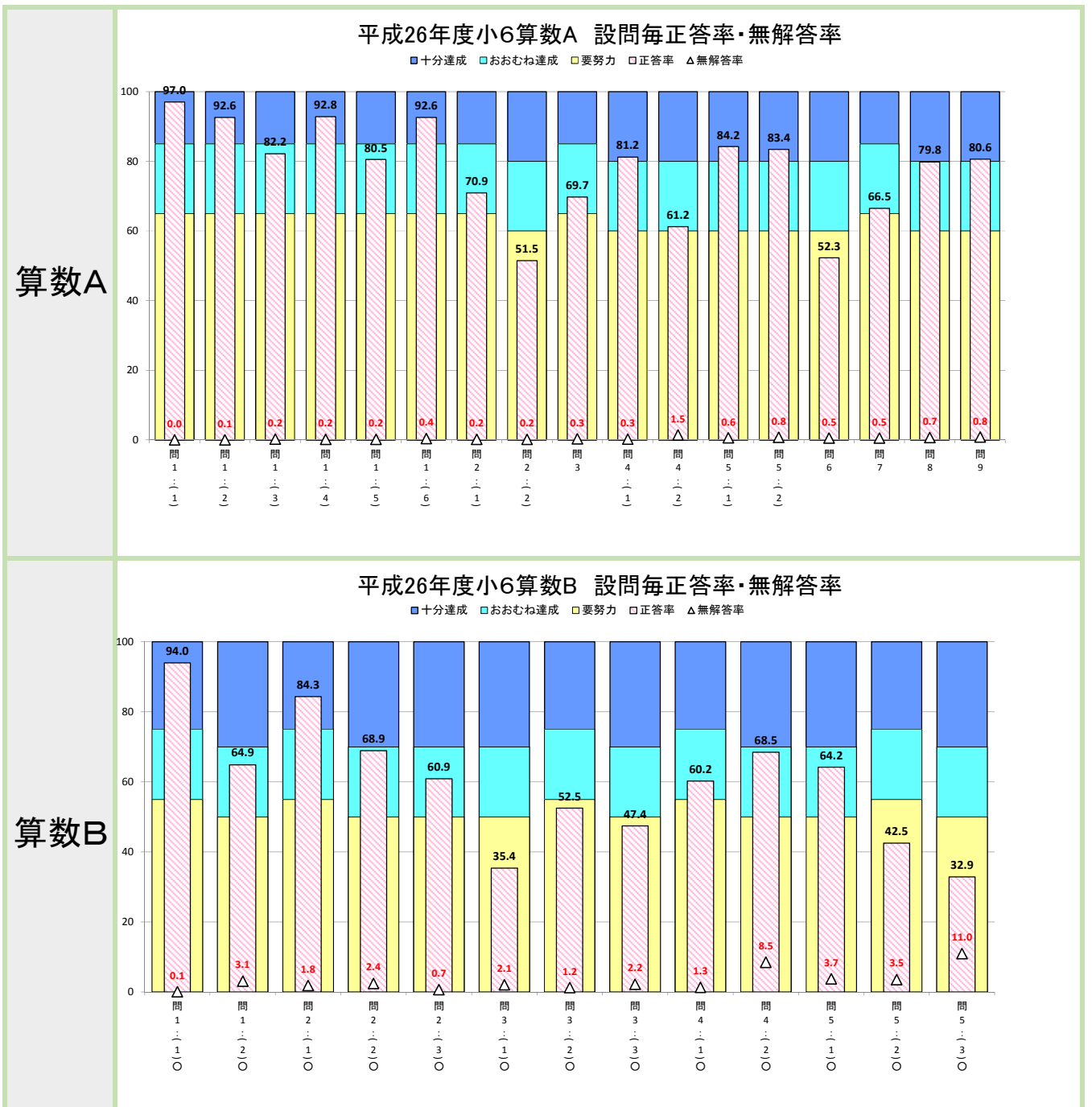


平成26年度小6国語B 設問毎正答率・無解答率

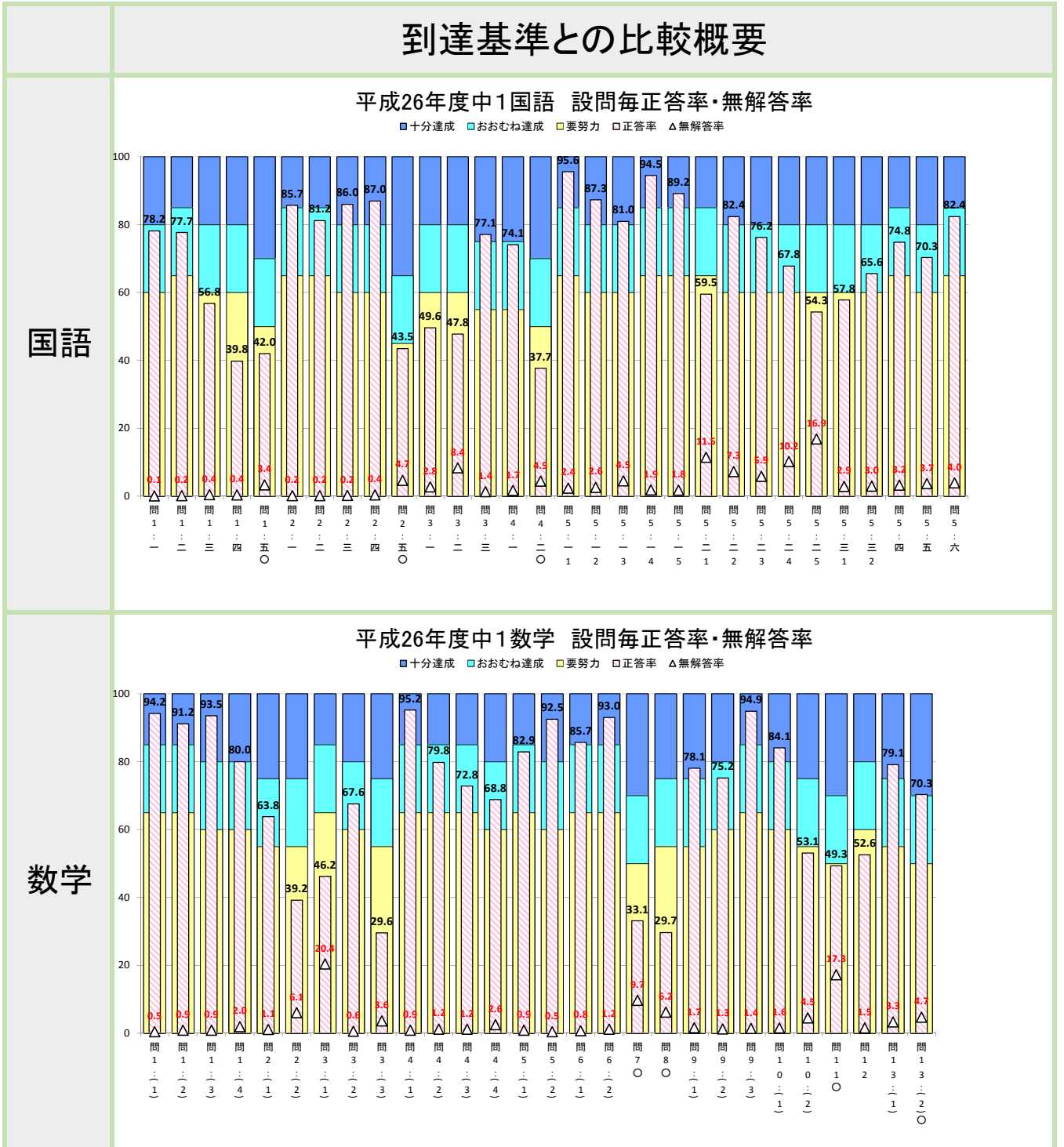
■十分達成 □おおむね達成 □要努力 □正答率 △無解答率

国語B





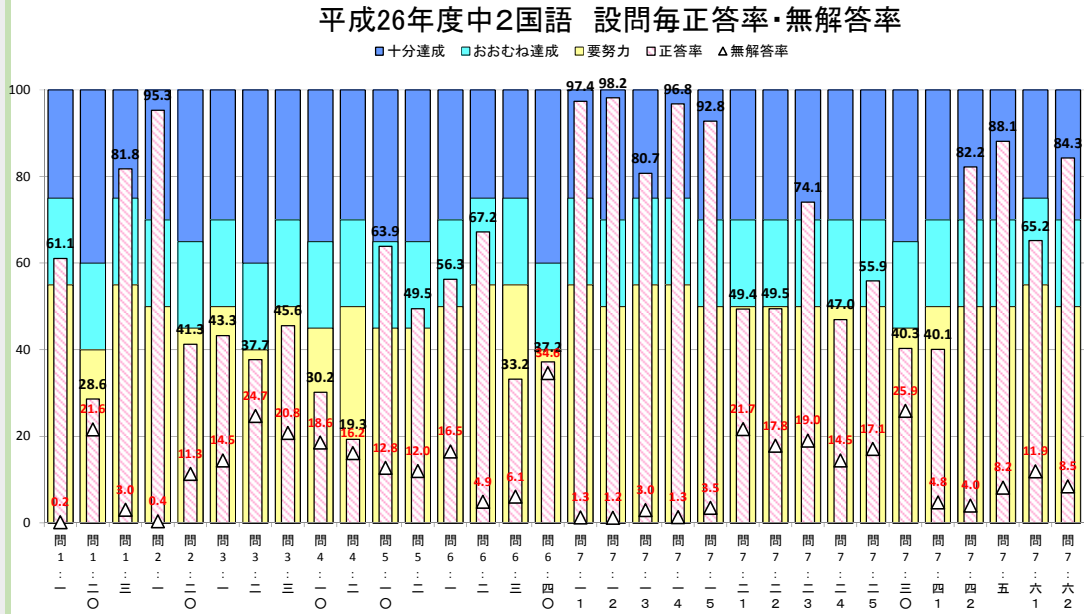
○中学校第1学年



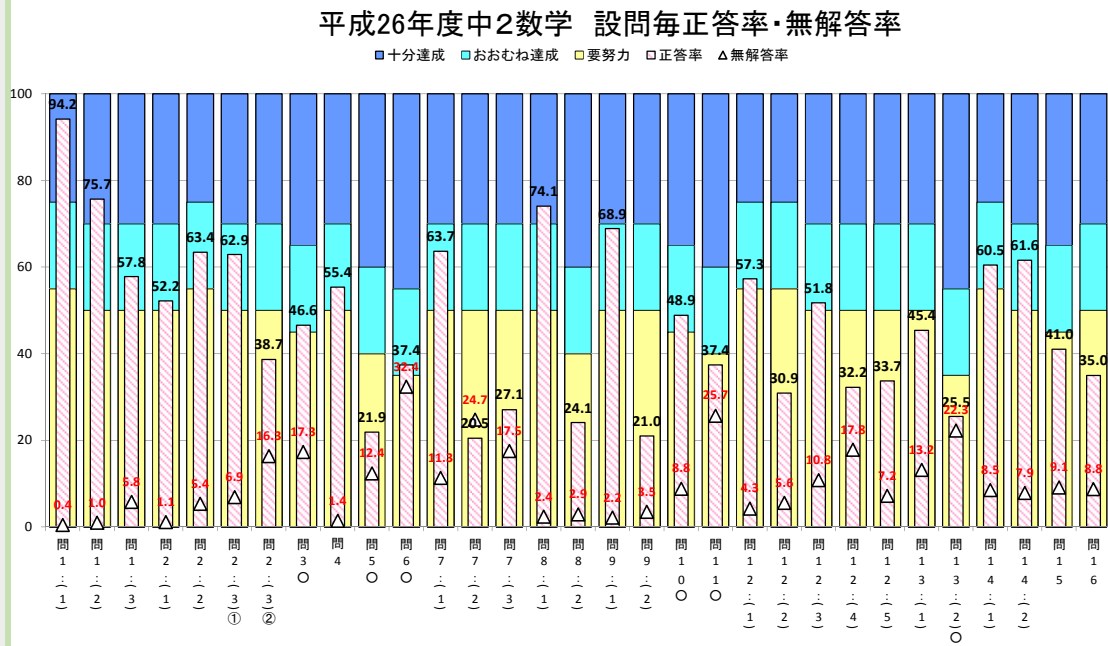
○中学校第2学年

到達基準との比較概要

国語

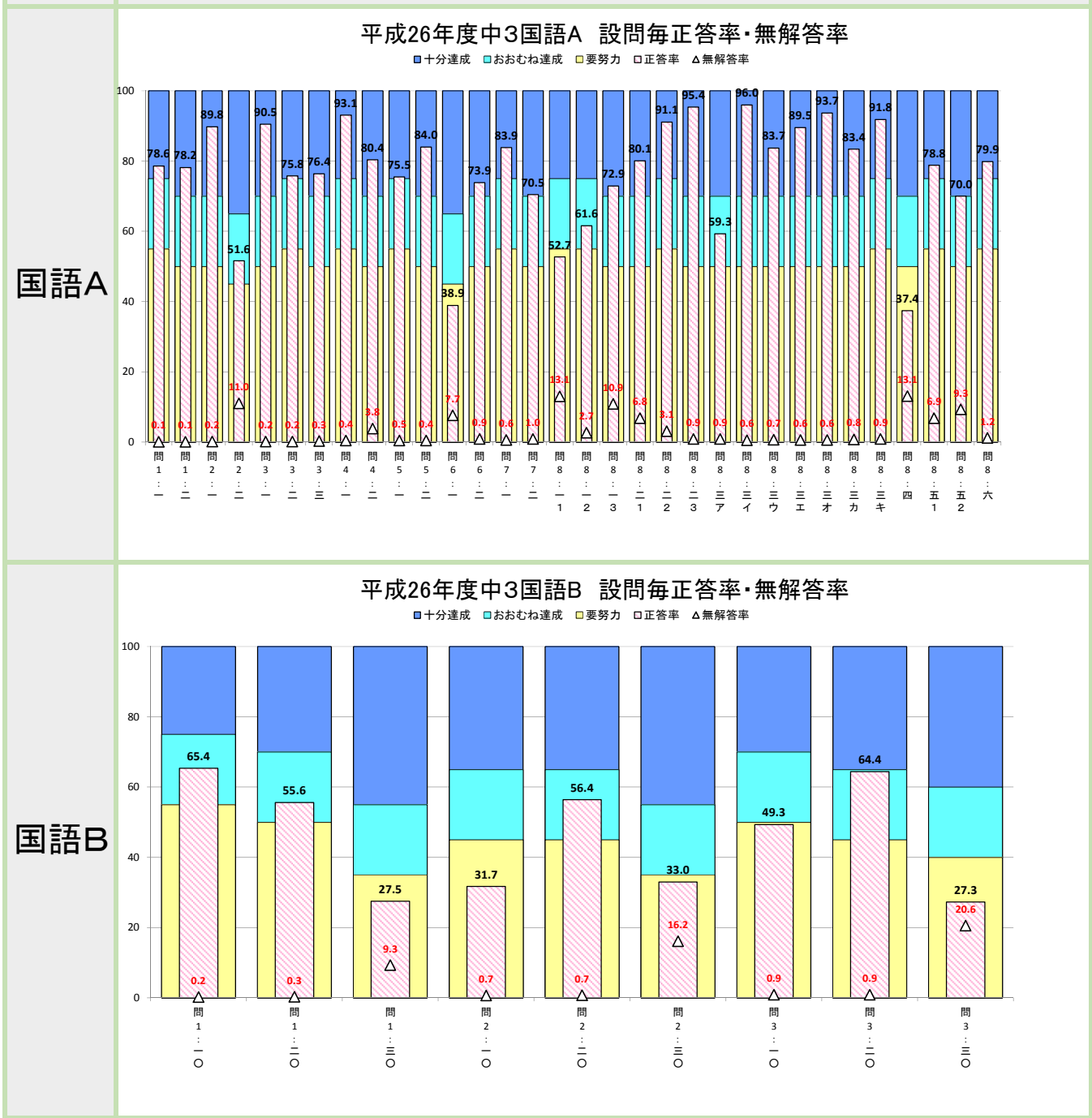


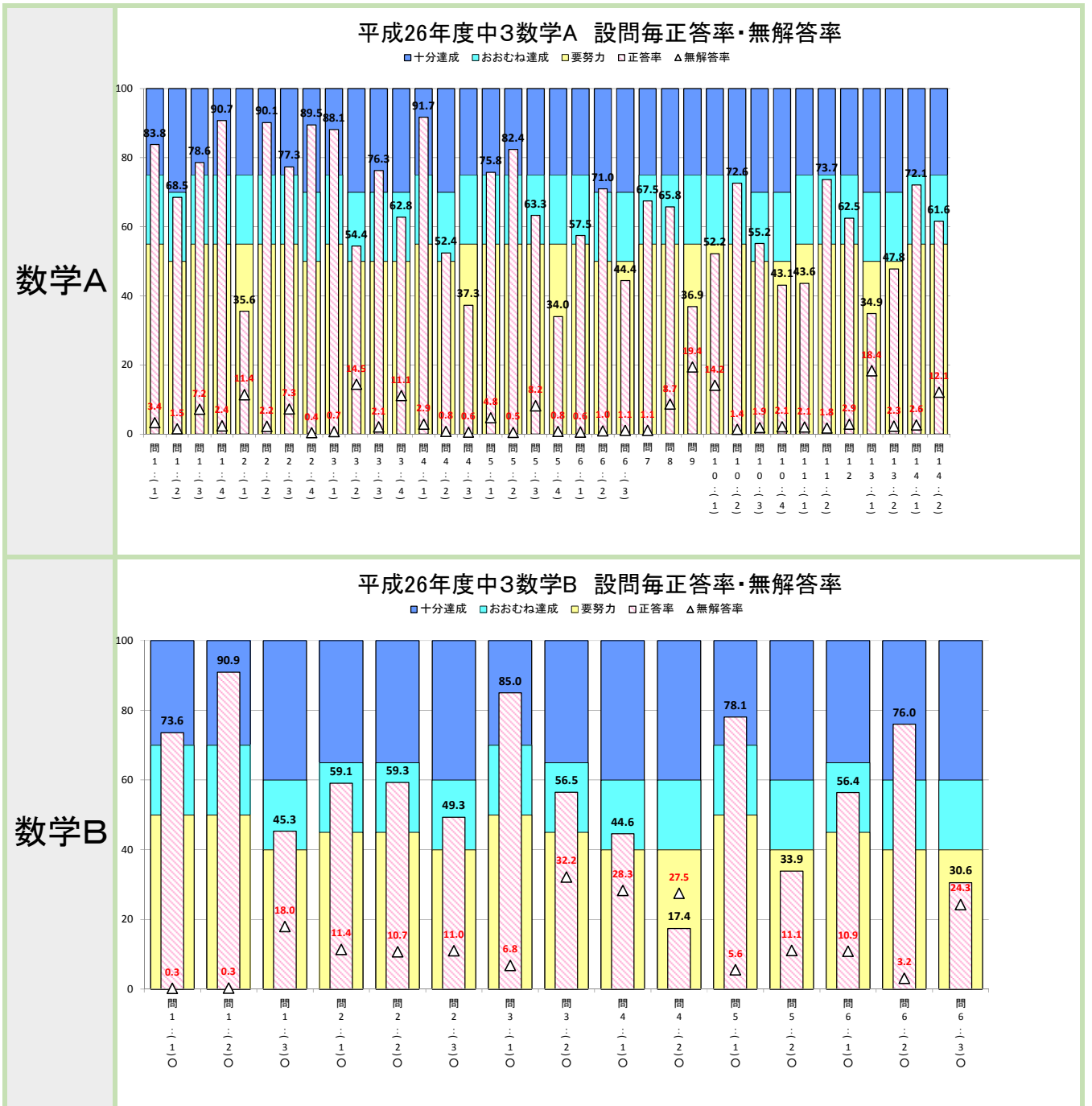
数学



○中学校第3学年

到達基準との比較概要



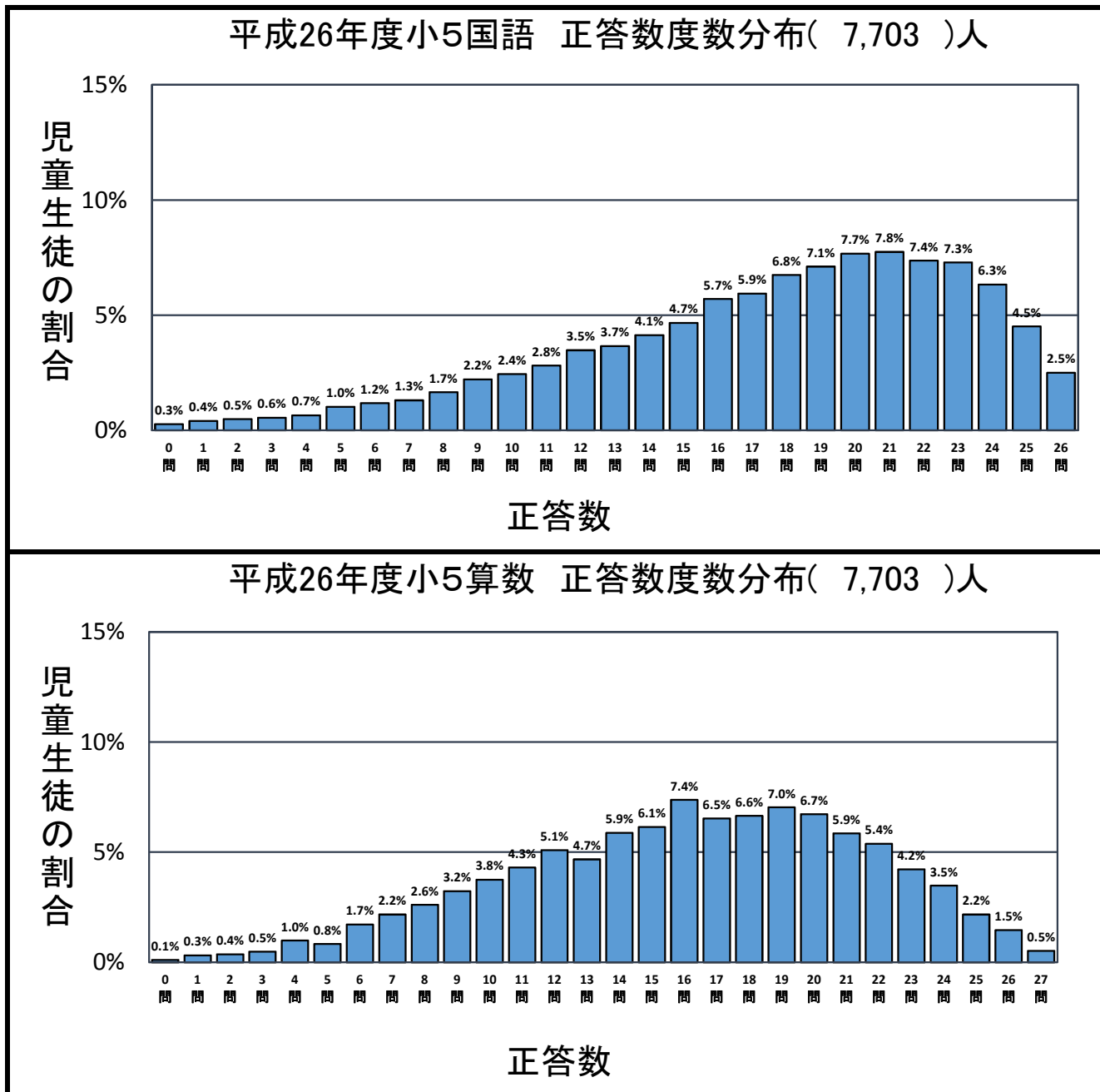


(5) 正答数度数分布

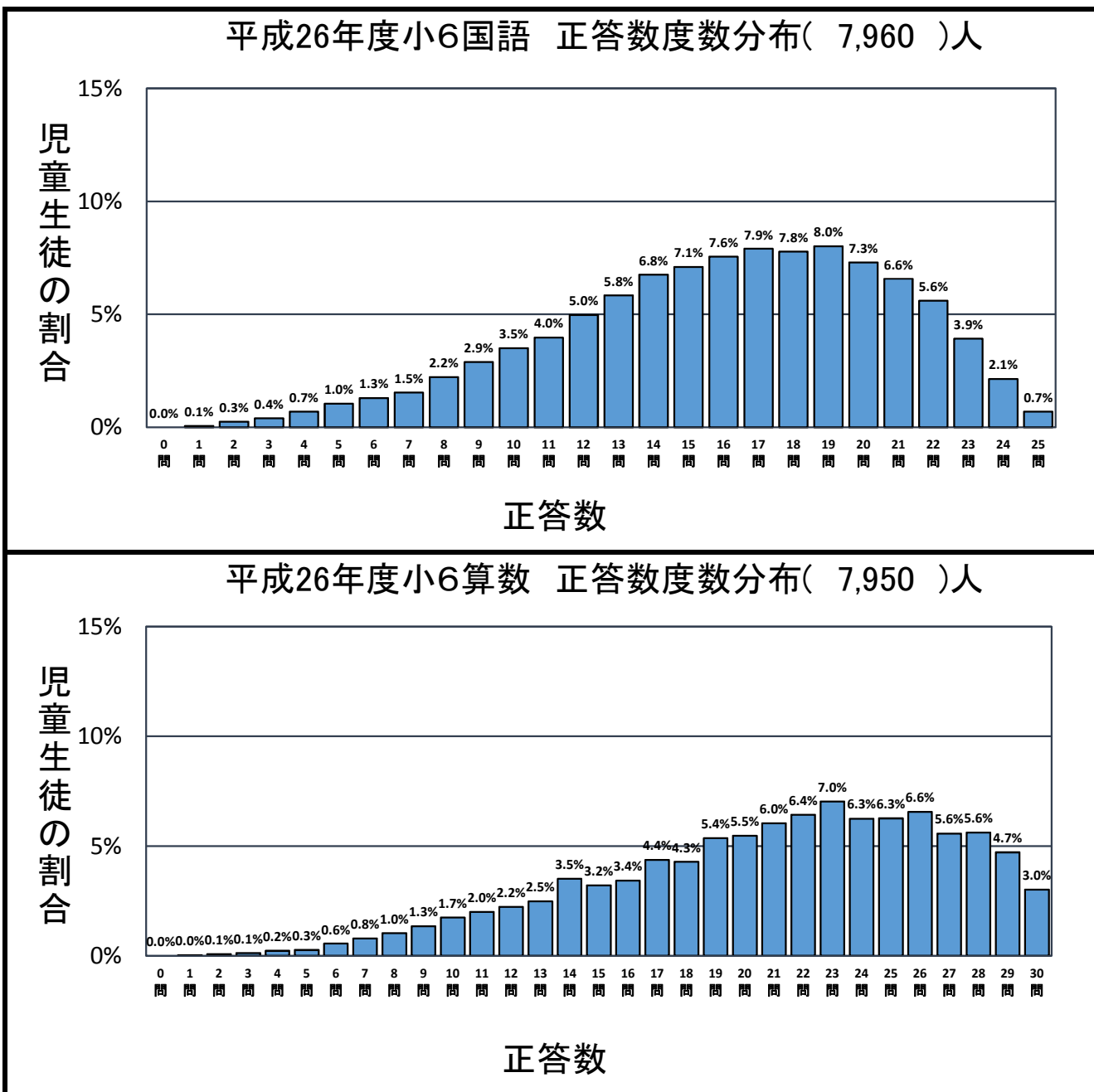
正答数度数分布

1 正答数度数分布(小学校)

○小学校第5学年

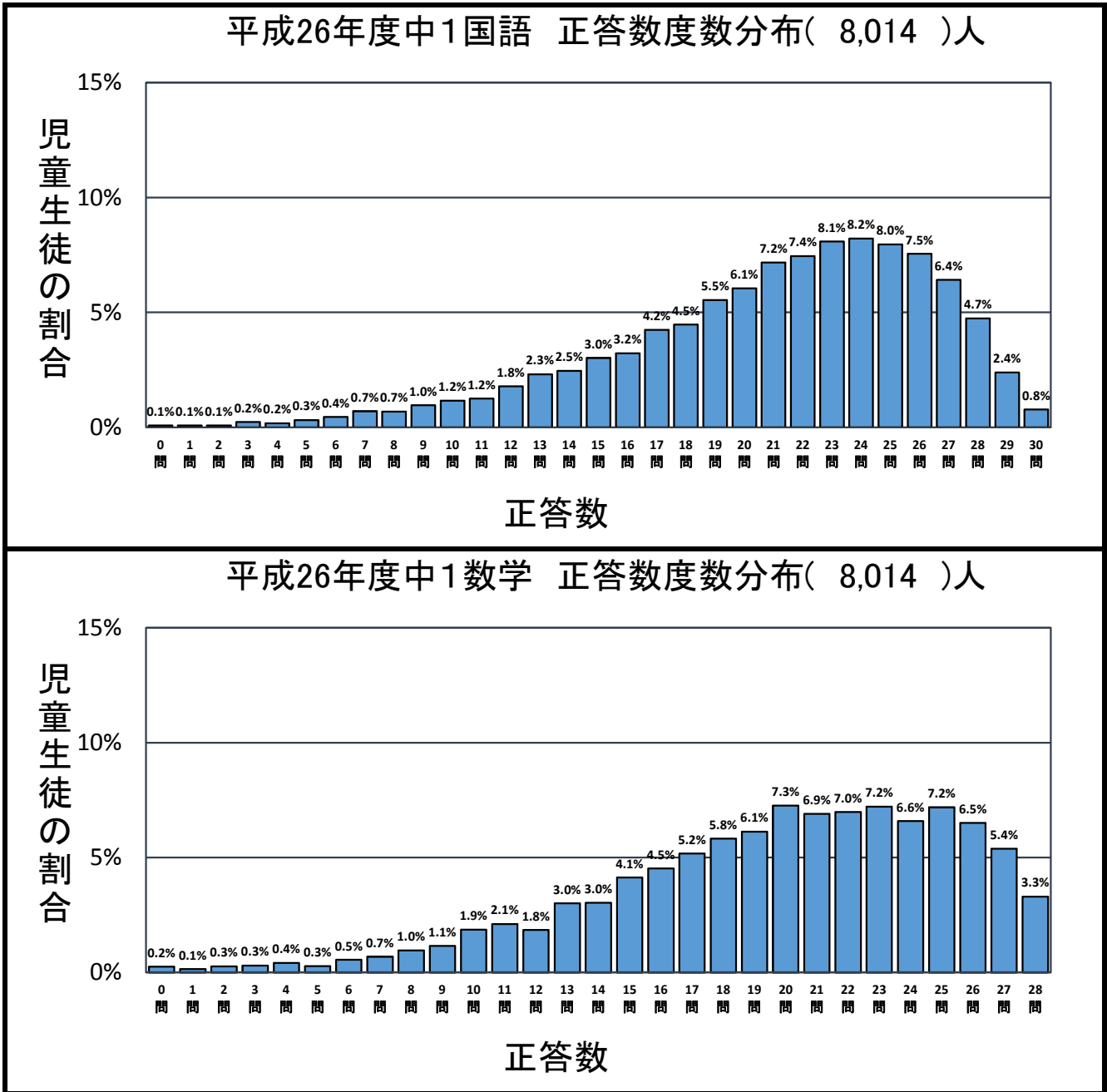


○小学校第6学年

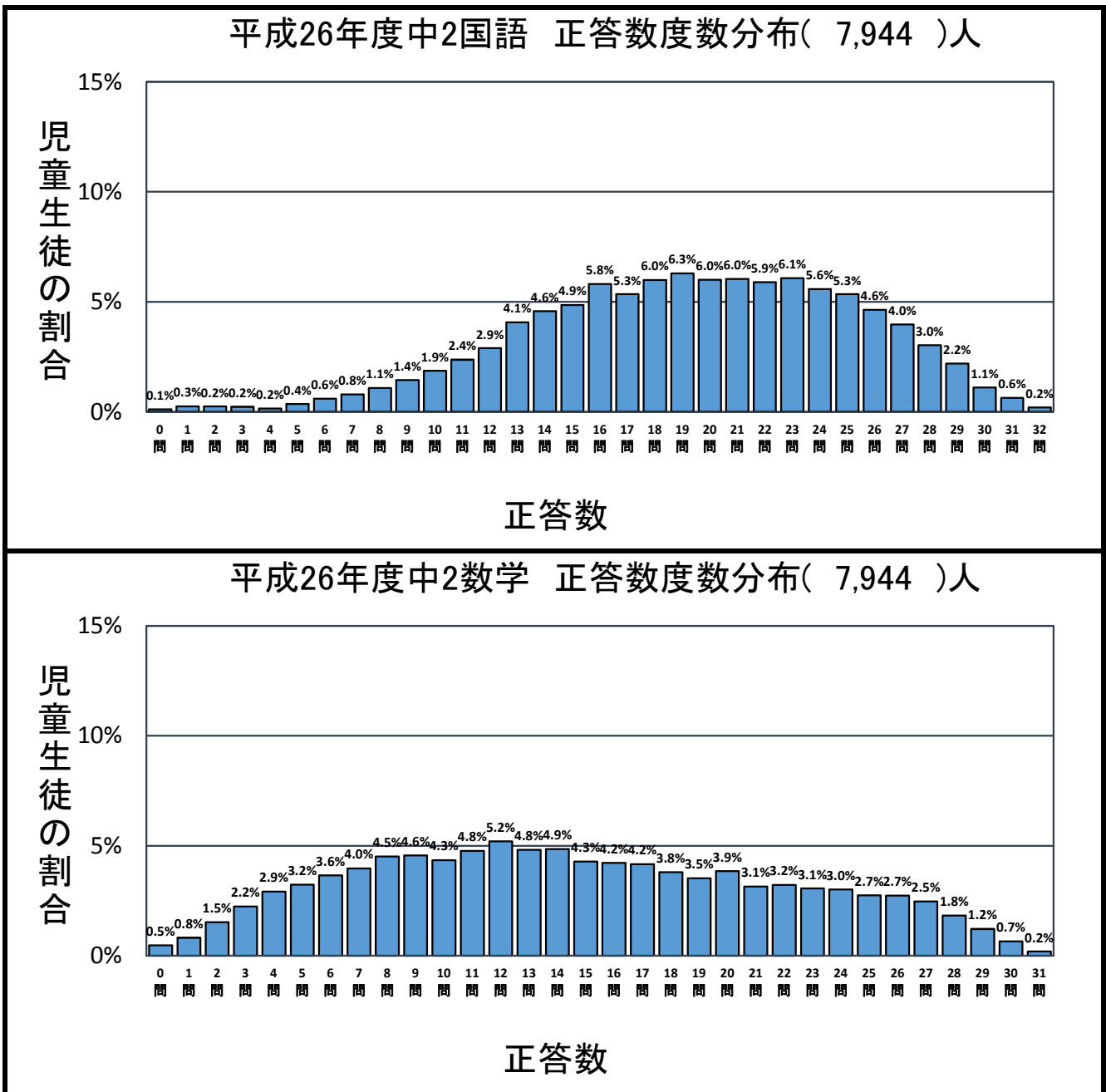


2 正答数度数分布(中学校)

○中学校第1学年



○中学校第2学年



○中学校第3学年

